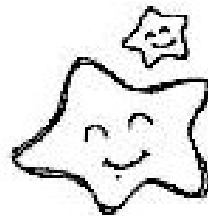


QSK にぬふあぶし

No.304

ね
子の方向の星(北極星)



読谷村家族会が沖縄タイムスの取材を受けました

コロナによって、家族会活動もさまざまに変化を始めています。

読谷村精神療養者家族会では、沖縄タイムスの助成金事業を使ってノートパソコンを購入しました。

各種の研修会もいまはオンライン配信が主流になっています。以前は県外研修といえば、特に沖縄にいと旅費やスケジュールの心配が先立ちましたが、インターネットの活用により、いながらにしてさまざまな情報に触れられるようになったことは、活動の可能性を大きく広げるものと感じます。これまでになかったようなつながりを得ることも、きっとできるのではないのでしょうか。



オンラインで県外研修

約30年前に発足した読谷村精神療養者家族会(富山幸子会長)は現在、会員が約20人。毎月の定例会やイベントなどを通して交流を深めている。

助成金で購入したパソコンを使い、3月は宮崎県で開かれた精神保健福祉研修会に会員4人がオンラインで参加。「定例会の資料作成などでも使い、助かっている」と富山会長は話す。

毎月第2木曜に開く定例会で、今後のイベントや互

いの近況を確認する。月に1回、計5回に分けて毎年実施している学習会では、心の病や家族の向き合い方などを学び合う。会員以外も参加でき、正しい理解や新会員加入のきっかけの場となっている。

富山会長は「家族が孤独にならないようにつながっていききたい。悩んでいる人に一人でも多く会員になってもらい、仲良く、楽しく、元気にやっていきたい」と語った。
(中部報道部・伊集竜太郎)

助成金でパソコンを購入した読谷村精神療養者家族会の会員の14日、同村社会福祉協議会

沖縄タイムス 2022年4月28日(木)

第47回 部落解放・人権西日本夏期講座のご案内

日時：6月9日(木) 12:30~16:50 / 6月10日(金) 9:30~12:30

会場：オンライン ZOOM

(※那覇文化芸術劇場を予定していましたが、変更になりました)

9日 講演1「基地から漏れ出す PFAS 沖縄で放置される環境汚染」
講演2「沖縄で考えるジェンダー平等」

10日 講演A1「沖縄戦の遺骨収集「ガマフヤー」が伝えたいこと」
講演A2「尊厳ある医療環境を求めて～精神障害者、高齢者の社会的入院を問う」
講演B1「人権教育・啓発の進め方～学校・地域を中心に」
講演B2「差別解消・被差別連帯の道のり一部落問題入門」

お問い合わせ先 (一社) 部落解放・人権研究所 部落解放・人権西日本夏期講座事務局

TEL06-6581-8576 FAX06-6581-8540 メール nishinatsu@blhrii.org

